

久松地区

地域コミュニティ計画



平成23年3月

住みよい久松地区をつくる会

目 次

1	地域コミュニティ計画の必要性と意義	1
2	久松地区コミュニティ計画の策定経過	1
3	各種団体の事業との調整	2
4	久松地区の現況	3
	(1) 久松地区の特徴	3
	(2) 人口・世帯の変遷	3
	(3) 年齢別人口の推移	4
5	「まちづくり」アンケートからみた久松地区の課題	5
6	地域コミュニティ計画（実施計画）	6
	目標1 生活と安全のまちづくり	6
	施策1 町内会活動の振興	6
	施策2 自主防災組織・活動の充実	6
	施策3 防犯対策の強化	7
	施策4 交通安全の充実	7
	施策5 環境対策の推進	8
	目標2 健康と福祉のまちづくり	8
	施策1 福祉対策の推進	8
	施策2 健康の維持・管理	9
	施策3 ボランティア意識の向上	9
	目標3 文化と教養のまちづくり	10
	施策1 公民館活動の充実と強化	10
	施策2 文化・教養施設との連携	10
	施策3 人権教育・啓発事業の推進	11
	施策4 農山村との交流	12
	施策5 久松山の歴史・自然の考察	12
	目標4 次世代を育成するまちづくり	13
	施策1 児童の安全確保	13
	施策2 子育て世代のコミュニティの再生	13
7	付 属 資 料	14
	(1) 「住みよい久松地区をつくる会」組織図	14
	(2) 「住みよい久松地区をつくる会」部会及び構成員	14

1 地域コミュニティ計画の必要性と意義

この計画は、地域住民自らが、地域の特性を活かして暮らしやすいまちづくりを進めていくためのものです。

鳥取市では、市民と行政がそれぞれの役割と責任を分担し、互いの主体性をもちながら一体となって豊かな地域社会を実現するため「協働のまちづくり」を進めることとして、各地区ごとに推進組織（まちづくり協議会）の設立、また事業推進のための計画（コミュニティ計画）をつくることにしております。

2 久松地区コミュニティ計画の策定経過

久松地区では、平成21年6月に「まちづくり協議会」として、町内会長会及び地域の各種団体が中心になって「住みよい久松地区をつくる会」を設立しました。

組織の中に5つの部会を設置し、今後の方針、具体的な事業の組み立て等を検討し、この計画の策定にかかりました。アンケートを通じて地域の方から頂いた多数のご意見を参考とさせていただきました。

今後は地域住民が主体となって、地域コミュニティ活動の具体的な行動計画を作成し、地域の特色あるまちづくりや、地域コミュニティの活性化を図っていくこととなります。

この計画は、「住みよいまちづくり」を進めるための目標及び当面の施策を掲げたものです。

○ メインスローガンは「みんなで住みよい久松地区をつくろう」とし

そのための基本目標を

- 1 生活と安全のまちづくり
- 2 健康と福祉のまちづくり
- 3 文化と教養のまちづくり
- 4 次世代を育成するまちづくり

としました。

この計画は、随時事業の進捗状況を把握するとともに、必要に応じて見直しを行うこととしております。

3 各種団体の事業との調整

久松地区では、従来から各種団体が各々の責任で、久松地区の振興のための事業を行ってきています。

この計画では、それらの事業も包括的に取り入れ、各種団体のより一層の活動強化と連携により、「住みよいまちづくり」を進めていくものとしています。

各種団体が実施している事業については、従来どおり各種団体の責任と主体で実施するものとしています。

「住みよいまちづくり」の主な業務としては“地域コミュニティ計画の進行管理”や“各事業間で必要な調整”等ですが、地域全体を対象とした新規の事業等で、必要のある場合については、「住みよいまちづくり」が事業主体になり実施します。

実施の方法については、必要に応じ「実行委員会」等を設置し、実施するものとします。

4 久松地区の現況

(1) 久松地区の特徴

久松地区は、古くは鳥取城の攻防の場となった久松山のふもとにあり、その後江戸時代には、武家屋敷の中心地域として「まち」が構成されていました。

昭和の時代に入ってから、区画整理事業、鳥取大震災、鳥取大火など幾多の変遷を経て、今では大部分が自然環境、居住環境に恵まれた住宅街となっています。

また、官公庁、学校等のほか鳥取城跡、仁風閣、博物館、図書館、わらべ館、やまびこ館など県下でも有数の文化・教養施設に恵まれており、地元の人のもとより季節、季節には多くの来訪者でにぎわっています。

(2) 人口・世帯の変遷

久松地区の人口は、平成22年6月現在で5,924人であり、平成10年3月を100とした場合90.8%で、602人の減少となっています。

世帯数・人口の推移

項目	平成10年3月		平成15年4月		平成20年4月		平成22年6月	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
久松地区	2,546	6,526	2,637	6,410	2,549	5,960	2,563	5,924
旧鳥取市	51,277	146,097	56,199	149,596	58,831	148,901	60,383	148,997
久松地区	100.0	100.0	103.6	98.2	100.1	91.3	100.7	90.8
旧鳥取市	100.0	100.0	109.5	102.4	114.7	102.0	117.8	102.0

一方世帯数は、平成22年6月現在で2,563世帯であり、平成10年3月を100とした場合100.7%で17世帯の増加となっています。

また、一世帯の家族数を見ると、平成22年6月では2.3人となっています。

平成10年3月では2.6人、平成元年では2.8人であり、一世帯当たりの家族数は減少傾向にあり、核家族化の進行がうかがえます。

(注) 1 久松地区のうち中町、丸山町については、行政区画と町内会の区域が異なるため、行政区画の世帯、人口の数値を使用しました。

2 旧鳥取市とは、平成16年11月の合併以前の鳥取市としています。

(3) 年齢別人口の推移

久松地区の人口を年齢構成別にみますと、構成比は各年大差なく経過していますが、人口総数の減少を反映して、各年齢層とも減少傾向にあります。

旧鳥取市との対比で見ますと、各年とも高齢人口の割合が高くなっています。

久松地区の高齢人口は、平成22年6月は前年対比で19人減少していますが、旧鳥取市との構成比の対比では、133.2%（久松構成比28.1：旧市構成比21.1）と高い割合になっており、久松地区は高齢化率が進んでいる地域といえます。

年齢別人口

年 月	年齢区分	久松地区	旧鳥取市	久松構成比	旧市構成比
15年4月	0～14	970	23,464	15.3	15.8
	15～64	3,757	97,731	59.0	65.6
	65～	1,638	27,679	25.7	18.6
	計	6,365	148,874	100.0	100.0
20年4月	0～14	788	22,290	13.2	15.0
	15～64	3,499	96,317	58.7	64.7
	65～	1,673	30,294	28.1	20.3
	計	5,960	148,901	100.0	100.0
21年4月	0～14	784	22,004	13.1	14.8
	15～64	3,506	95,627	58.7	64.4
	65～	1,685	30,910	28.2	20.8
	計	5,975	148,541	100.0	100.0
22年6月	0～14	785	21,950	13.3	14.7
	15～64	3,473	95,663	58.6	64.2
	65～	1,666	31,384	28.1	21.1
	計	5,924	148,997	100.0	100.0

(注) 年齢区分

0～14歳「年少人口」 15～64歳「生産年齢人口」 65歳～「高齢人口」

5 「まちづくり」アンケートからみた久松地区の課題

(1) 実施目的

住みよい安全なまちづくりを目指して「地域コミュニティ計画」を策定するに際して、地域住民の久松地区に対する想い、要望等を聴取し、幅広い地域住民の意見を反映するために実施しました。

(2) 実施時期 平成21年11月

(3) 回答数 317件

(4) 主なアンケートの内容と回答数（複数回答）

- ① 地域の魅力はなんですか…………… 117件
- ② 地域の課題はなんですか…………… 102件
- ③ どのような地域にしていきたいと思いませんか…………… 103件

(5) アンケートからみた重点事項

- ① 地域の魅力について
 - 自然環境が良い…………… 50件
 - 住環境に恵まれている…………… 18件
 - 公共施設に恵まれている…………… 18件
(文化施設・教育施設・官公庁等)
- ② 地域の課題について
 - 少子高齢化に向けた対策…………… 8件
(除雪対策・子ども主体の事業の実施等)
 - 安心、安全なまちづくり（防災・防犯・街灯の設置等）…………… 8件
- ③ どのような地域にしたいか
 - 住民同士のふれあいや絆のあるまち（あいさつ・声かけ等）…………… 23件
 - 地域の活性化（防災・福祉などの組織の充実）…………… 13件
 - 自然環境や景観を生かしたまち…………… 12件

等々であり、これらの意向を尊重し、計画化し、実施に努めます。

6 地域コミュニティ計画（実施計画）

この計画は、久松地区の各種団体の行う「みんなで住みよい久松地区をつくろう」を目的とした事業計画である。各種団体の共通的な課題として、組織員の高齢化が顕著になっており、「組織の継承」が難しい団体も多くなっている。地域の振興はもとよりであるが、その推進役である団体の組織の維持・発展への対策が急がれる。そのためには、人材の確保、リーダー養成が必要となる。

（注）計画の文中「つくる会」の名称は、「住みよい久松地区をつくる会」の略称である。

目標 1 生活と安全のまちづくり

施策 1 町内会活動の振興

（現況と課題）

久松地区の町内会への加入率は、平成22年度73.2%であり、旧鳥取市平均68.2%を上回っているものの災害時等の対応を考慮すれば、なお一層の加入が望まれる。

また、町内会関係行事への参加者が少なく、町内会運営上の課題ともいえる。

（実施事業）

主要課題	事業内容	役割分担
町内会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 自治活動の必要性と役割の周知を図るためリーフレット等配付する。 未加入者への加入促進のため、戸別訪問等を実施する。 	町内会

施策 2 自主防災組織・活動の充実

（現況と課題）

久松地区20町内会のうち1町内会を除いて自主防災会が組織されている。

組織的には町内会と一体化されているケースも多く、制度的に整備する必要がある。

また、災害時の要援護者支援体制の整備に努めるとともに、災害時の地域の災害実態を把握する体制の整備が必要である。

なお、事業の実施にあたっては、必要に応じ鳥取市防災指導員と協調しながら行う。

（実施事業）

主要課題	事業内容	役割分担
自主防災組織の整備と必要性の周知、防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> 市の指導要綱を参考に自主防災組織を充実する。 防災訓練は定期的実施するが、必要に応じ複数の自主防災組織で実施する。 	自主防災会 （まとめ） つくる会
危険箇所の把握と避難場所の適正配置	<ul style="list-style-type: none"> 災害危険箇所等を実地に点検し、その結果をマップ化する。また、現実的な避難場所を確保する。 必要に応じ市等関係機関に対策を要請する。 	自主防災会 （まとめ） つくる会
災害時要援護者支援体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障害のある人等災害弱者に対する災害時の対応を市の制度に基づき強化する。 	町内会・社協・民児協

施策 3 防犯対策の強化

（現況と課題）

それぞれの町内会で講演会等必要に応じ随時実施されているが、悪徳商法に類する行為も、さらに悪質化・多様化の傾向にあり、新しい事態に対応した対策が必要である。

（実施事業）

主要課題	事業内容	役割分担
高齢者対策の確立	<ul style="list-style-type: none"> 悪徳商法などに対する問題意識の普及のため、リーフレット等の配付・説明・注意喚起を行う。 問題発生時の連絡体制を確立する。 	関係団体
児童生徒の防犯体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 小学児童の登下校時の見守り等を行う。 	関係団体

施策 4 交通安全の充実

（現況と課題）

交通安全意識の向上と交通安全施設の点検と整備。必要に応じ関係機関に要望する。

（実施事業）

主要課題	事業内容	役割分担
交通安全意識の向上と交通安全施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者及び児童・生徒の交通安全意識の周知徹底と児童・生徒の登下校時の指導を行う。 交通安全関係行事（講習会等）への参加を促進する。 	関係団体

施策5 環境対策の推進

(現況と課題)

地域内の公園緑地・広場の清掃、家庭周辺の清掃の意識の高揚と徹底をはかり、利用者の安心・安全を確保する。なお不法投棄等を察知した場合には、鳥取市不法投棄監視員と協調し対応する。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
都市公園等の整備と美化	・公園愛護会と協調し清掃、整備を行う。	関係団体
「ふれあい広場」の充実	・春、秋の年2回地域住民の交流を兼ね行っている久松公園周辺の清掃活動の充実を図る。	つくる会
地域の環境対策	・各家庭周辺の環境整備について、知識の周知を図るとともに、市の一斉清掃に呼応した清掃活動を実施する。	町内会

目標2 健康と福祉のまちづくり

施策1 福祉対策の推進

(現況と課題)

久松地区は少子高齢化が進展し、ひとり暮らしの高齢者も増加の一途をたどっている。この傾向は今後とも継続されるであろうし、この事実を踏まえた上で、高齢者が安全で、安心して暮らせる地域づくりが必要である。また全国的には死に至らしめる児童虐待、所在不明の高齢者の問題等幾多の社会問題が発生している。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
高齢者の生活状況の把握と その対応	・となり組福祉員が高齢者の日常生活を観察し、平素と異なる生活が見られる場合は関係者に連絡し、事故防止に努める。	社協
地域住民の福祉の向上	・住民の福祉に対するニーズを把握するとともに、それに対応した福祉活動を関係団体と連携して推進する。	社協 関係団体
福祉ニーズの多様化と問題 点の把握	・個人情報that得にくい現状だが、高齢者の安否確認等の機会を捉えて問題点の把握に努め、その解決に当たる。	民児協
福祉情報の提供	・毎月福祉・健康・防犯等の情報を久松地区独自の「みみより情報」として提供しているが、さらに充実を図る。	民児協

施策2 健康の維持・管理

(現況と課題)

長寿社会をむかえ、元気で長生きが理想の姿である。そのためには平素からの健康管理が重要な要素となる。誰でも参加しうるような地域環境を整備する必要がある。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
健康の維持・管理	・ファミリーウォーキング（仮称）を開催する。 ・健康管理として、各種検診の受診率の向上を図る。 ・生活習慣病予防と「食育」への関心を高める活動を促進する。	関係団体
スポーツ活動の促進	・地域の交流・親睦・健康増進等のための久松地区大運動会等の有機的な活動を図る。 ・スポーツ教室・市民体育祭への積極的な参加を促進する。	関係団体

施策3 ボランティア意識の向上

(現況と課題)

地域の生活環境も大きく変化し、住民のニーズも多様化している。また地域の連帯意識が希薄になっている傾向にあり、共同組織である地域の連帯意識の醸成が必要である。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
ボランティア活動の組織化	・行政と協働で実施する諸行事を通じてボランティア活動の意識の高揚を図る。 ・災害時等有事の際のボランティア活動の組織を充実する。	関係団体

目標3 文化と教養のまちづくり

施策1 公民館活動の充実と強化

(現況と課題)

久松地区公民館では、その目的・理念に基づき、地域住民の文化・教養・福祉等交流の場を提供し、ふれあい・福祉・生涯学習などを中心に貢献している。

公民館利用に関するアンケートを実施した結果、公民館に関心はあるが利用したことがないとの回答が半数あった。一方イベント等内容によっては参加利用したい旨、幅広い層から強い参加の意向も寄せられた。

今後、アンケートに示された意向をふまえて若年層・高齢者を対象とした事業内容を再検討し、地域住民のニーズに合った公民館活動を企画立案し、一層幅広い活動の充実を図ることが急務である。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
公民館活動の充実と重点化	<ul style="list-style-type: none"> 既設の事業計画の充実と地区住民の公民館活動への積極的な参加を推進する。 生活の多様化にともなう学習の習得や趣味、芸術の向上のため、住民ニーズに合った魅力ある新規事業を計画し実施する。 	公民館
施設整備の充実促進	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を効率的に使用するため、施設の使用状況等を全面的に再検討し、施設整備の充実を図る。 	公民館 関係団体

施策2 文化・教養施設との連携

(現況と課題)

公民館活動の活性化を図るため、活動参加者の若返り等を積極的に推進していくとともに、幅広い層の地区住民が多数参加できる公民館活動事業の推進が一層求められるところである。

久松地区は、文化・教養・教育施設及び行政機関等が集中する一大文教・行政地区にあり、これら各施設の特性を公民館活動に取り入れながら、連携強化を図りつつ、活性化を図っていく必要がある。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
公民館機能の充実と重点化	<ul style="list-style-type: none"> 従来から実施している地域の行事「公民館まつり」「お堀端教養講座」などの充実強化を図る。 	公民館
文化・教養施設並びに行政機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 文教地区の特長を生かし、教育機関と連携、若い息吹を取り入れ、公民館活動の活性化を図る。 博物館・展示資料館等との連携を図り、専門家による講演などを開催し、生涯学習の充実を図る。 	公民館

施策3 人権教育・啓発事業の推進

(現況と課題)

思想・信条等が異なる人の集まりが人間社会であり、生活していく中で差別があってはならない。

私たちのまわりには、同和問題、女性、障がいのある人、子ども、高齢者、個人のプライバシーの問題など広範囲にわたる人権の問題が存在しており、これらの問題について、正しく理解し、一歩でも行動に結びつくよう努めなくてはならない。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育・啓発活動を推進する。 同和問題をはじめ、関係団体の集いを開催する。 各種の情報交換会を定期的で開催する。 ブロック別の人権学習会の充実を図る。 	関係団体

施策4 農山村との交流

(現況と課題)

生産者と消費者との交流は、生産現場の実態、消費ニーズの把握等有意義なことであり、児童・生徒を含めて進展を図る。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
農山村との交流	<ul style="list-style-type: none"> 農作業の体験活動と生産地域との交流の促進「ふれあい市」の開催等消費者教育を推進する。 子どもを中心とした農作業体験の交流を図る。 優姫の舞（有機肥料のみを使った米）の斡旋・配付を行う。 	関係団体

施策5 久松山の歴史・自然の考察

(現況と課題)

久松山は鳥取市全域のシンボルであり、貴重な歴史・自然資源である。この環境を愛し、育てることは地域住民にとって必要なことである。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
久松山と城下町鳥取の歴史と自然への親しみ及びふるさと意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関・団体と連携して、学習会・歴史探訪・自然観察会等の充実、強化を図る。 	久松山を考える会 公民館

目標4 次世代を育成するまちづくり

施策1 児童の安全確保

(現況と課題)

少子・高齢化が進むなか、青少年の健全育成は地域にとって重要な課題であり、住んでよかった、また住みたいという環境づくりを進めたい。

(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
児童の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動を実施する。 自転車乗車時のヘルメット着用を推進する。 防犯掲示板の設置を促進する。 	関係団体

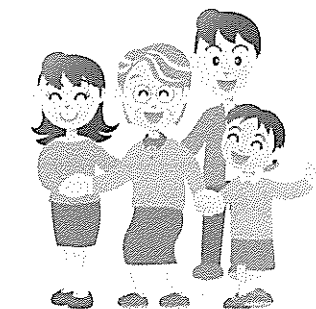
施策2 子育て世代のコミュニティの再生

(現況と課題)

青少年の健全育成は、学校教育のみならず、温かい家庭環境の醸成が必要である。また、スポーツや地域の行事への参加を通じ、世代間の交流の促進等を行うため、地域の環境整備を充実する。

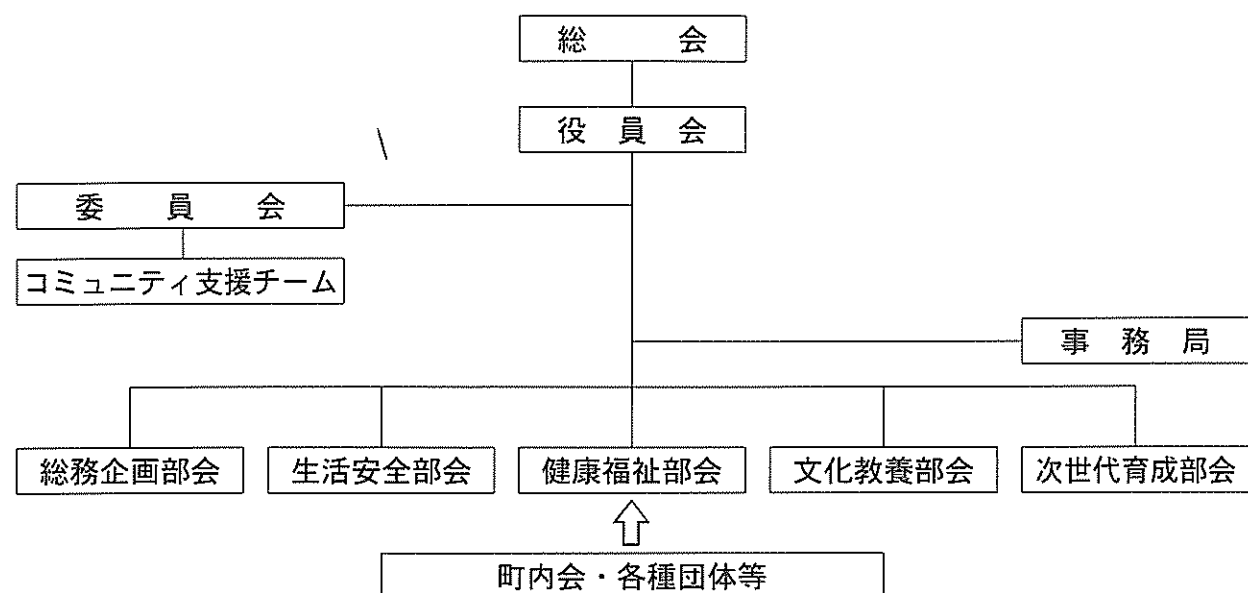
(実施事業)

主要課題	事業内容	役割分担
子育て世代・地域のコミュニティの再生	<ul style="list-style-type: none"> 育友会の会員相互の交流・親睦等の充実 久松小学校の校庭の芝生化と芝生化を通じての地域の協力体制の構築について検討する。 	関係団体



7 付 属 資 料

(1) 「住みよい久松地区をつくる会」組織図



(2) 「住みよい久松地区をつくる会」部会及び構成員

部 会 名	構 成 員
総務企画部会	各部部长
生活安全部会	町内会、県交安協鳥取地区協会久松支部 市交安対協鳥取地区久松支部、防犯協議会久松支部 市自主防災会連合会久松地区
健康福祉部会	久松体育振興会、健康づくり推進員連絡協議会、社会福祉協議会、 民生児童委員協議会、久松愛の輪、婦人協議会、食生活改善推進員会 久松さざんか会、鳥取更生保護女性会
文化教養部会	公民館、公民館運営委員会、人権啓発推進協議会 ふるさと体験交流促進会議、久松山を考える会
次世代育成部会	青少年育成久松地区会議、子ども会育成協議会、小学校、 小学校育友会、中学校教育文化会、久松JSC、久松おやじの会

◎ 各部会は必要に応じて関係団体と協議する。

「みんなで住みよい 久松地区をつくろう」

基本目標

- 1 生活と安全のまちづくり
- 2 健康と福祉のまちづくり
- 3 文化と教養のまちづくり
- 4 次世代を育成するまちづくり

久松地区 コミュニティ計画

「住みよい久松地区をつくる会」

事務局 久松地区公民館

〒680-0011 鳥取市東町3丁目371-2

電話 (0857) 23-4148
